

# 第4回 双葉町復興まちづくり委員会

## 生活再建部会 議事録

■日時 : 平成25年1月17日(木) 委員会 午後1時00分～午後2時45分  
部会 午後3時00分～午後3時45分  
委員会 午後4時00分～午後4時30分

■場所 : 双葉町役場埼玉支所 4階家庭科室

■出席者 : 生活再建部会委員  
事務局(双葉町企画課)

(参照: 第4回生活再建部会座席表)

### 1. 開会

【高野 重紘 部会長】

部会長の高野です。議事進行にあたって、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 2. 議事

#### (1) 生活再建に向けた取組の考え方について(審議)

【高野 重紘 部会長】

それでは、議事に入ります。先程の委員会で、「復興まちづくり計画に盛り込む内容について」、審議いたしましたが、この部会では、このうち生活再建に関わる部分を中心に生活再建に向けた取組の考え方についての議論をしていきたいと思っております。まず、本日審議をいただきたい点について、事務局からの資料の説明をお願いします。よろしくお願いします。

【事務局 駒田 義志】

では資料2について私から説明をさせていただきます。資料2「生活再建に向けて盛り込む内容について」ということで、さきほどの委員会の中で復興まちづくり計画に盛り込む全体の大きな柱についてはご審議をいただきましたけれども、このうちこの部会としてこれから2月、3月にかけて、特に住民意向調査アンケートの結果も出てまいります、2月に重点的に議論をしていかなければいけない項目というものの整理を、これまでの部会の議論も踏まえてさせていただきましたので、この点について追加・修正すべき点はないか、ご審議をいただきたいと思っております。

まず1点目ですけれども、生活再建に向けた取組で一番大きな話は仮の町の実現に向けた取組、これが一番大きな柱になってこようかと思っております。その中身としてはまず仮の町のコンセプトとして、仮の町の意義・役割といったものの整理、ここには当然仮の町をどれくらいの期間を想定していくのかとかそういったところを整理していく必要があるかと思っております。後は双葉町の仮の町というものについて、ふさわしい名称を考えていくということ。

2点目が仮の町の候補となる場所の考え方というものを整理して計画に書き込んでいかなければいけないのではないかという点です。この点につきましては、7000人の復興会議の中ではい

37 いろいろな出席者の方からのご意見というものもございますし、双葉町の住民意向調査、年末年始  
38 にかけてさせていただきましたこの意向調査というものの結果、ここでは、この意向調査の中で  
39 は仮の町を希望する方、また、仮の町の候補となる場所の考え方ということで、この住民意向調  
40 査の中では、皆さんお手元にもいったかと思えますけれども、設問の中に、仮の町について、是  
41 非仮の町に住みたいという選択肢と、仮の町のイメージが具体的になれば是非移り住むことを検  
42 討したいということと、仮の町に移り住むつもりはないという3つの選択肢を挙げて、仮の町に  
43 是非行きたいという方とイメージが明確になれば住むことを検討したいという方につきまして  
44 は、具体的に、どの自治体を希望されるか、また、その希望される自治体について、そこでなけ  
45 ればいけないのか、それともその場所にあまりこだわらないのかという意向についても、この  
46 住民意向調査の中で聞いておりますので、そういったところの回答を整理して、候補とすべき自  
47 治体また場所についても住民意向調査の中では交通の利便性だとか家族がみんな一緒に住める  
48 ことであるとか、そういった項目の優先度合がわかるような聞き方をしておりますので、その辺  
49 の項目も含めて、場所の選定にあたっての考え方というものをここで整理していくということ。  
50 その際に集中・分散のメリット・デメリットを以前ご審議いただきましたので、その整理を載せ  
51 た上で、それぞれのメリットを生かした仮の町の在り方というものを計画の中に位置づけていく  
52 ということ。

53 3点目として、仮の町の機能ということで、仮の町に備えるべき機能の在り方というものを、  
54 復興会議での町民のご意見であるとか意向調査の結果を踏まえて、整理していきたいと思ってお  
55 ります。あとは仮の町の実現方法ということで、受け入れ自治体との協議があってこの仮の町と  
56 いうことが実現に向けて前進していきますので、その辺の協議にあたって、双葉町として受け入  
57 れ自治体との協議にあたって、町に望むべき留意点のようなもの、こういったものを部会として  
58 整理していくということと、あとは町民の参画というものの在り方というものに関する提言とい  
59 うものもここで整理していく必要があるのではないかと。あとは仮の町に住まないという方も含め  
60 た町民への生活再建支援ということで、町民の置かれている多様な生活再建ニーズに沿った様々  
61 な相談に対応できる体制整備であるとか、あとは仮の町以外に住まれる方の住居の確保、情報提  
62 供などの支援対策といったもの、こういったところについて整理をして書いていくということ  
63 内容としてはどうかということですが。

64 大きな柱の2点目は生業の再開、あとは雇用の確保のための取組ということで、仮の町を受け  
65 る生業の再開、雇用の確保の取組ということで、事業所の店舗の整備、また事業をされていく上  
66 でコミュニティビジネス、これは地域の住民の方、新たに地域の特色を生かした仕事をしていく  
67 ということですがけれども、こういったものを促進していくとか、そういったアイデアを整理して  
68 書いていくと。あとは仮の町以外で事業再開、仕事を見つけられる方への対応といったところを  
69 整理していくということが2つ目の大きな柱になっていくのではないかと。

70 3点目が大きな柱、教育環境の確保ということで、学校の早期再開に向けた取組ということで、  
71 学校につきましては前回の部会の中でも、ここは熱心な議論が交わされたところでありまして、  
72 是非学校早期再開という話がある一方で、年末の報道にもありましたけれども、なかなか生徒さん  
73 さんが、集まっていない現状にもかんがみて、早期の学校再開に向けてこれから早急に検討しなけ  
74 ればいけない事項とか、そういった点を整理していくということと、あとは仮の町で長期的に見

75 てどういった学校をつくっていくのかということも含めた学校再開に向けた検討手法といっ  
76 たところを整理していくということ。あとは避難先の学校に通う子どもたちに対しての支援とい  
77 うことで、歴史・伝統・文化の継承機会、子ども同士のつながり確保ということで、避難先の学  
78 校に通うということを決めた子どもたちに対してどういう支援をしていくべきなのかというこ  
79 ころを整理して書いていくということ。

80 最後に当面の避難生活の改善の取組ということで、生活再建の原資である迅速、確実、十分な  
81 賠償というものを、しっかりきちんと、それを国・東京電力に求めていくということと、先程の  
82 議論になりますが、応急仮設住宅の暮らしといったものをまず改善していくということ、それ  
83 に向けた取組、これは短期の中でもさらに短期の取組になろうかと思えますけれども、そういった  
84 取組というものを整理をして書いていくということを生活再建に向けた取組の内容として整理  
85 してはどうかというご提案でございます。

86 2枚目は先程と同じですが、ここに生活再建として短期的、中期的、長期的にどういう取組を  
87 していくのかということ整理をした上でそれぞれ例えば仮の町の項目なり事業の再建など項  
88 目ごとに、課題と町民の提案といったものを具体的にこのまちづくり委員会として町に対してこ  
89 ういう方向で取り組むべきだという提案を、整理をしていくという形をこの2月の部会で、ご審  
90 議をいただきたいと思っております。このアウトプットの形を念頭に置きながら、この今回の盛  
91 り込む内容の全体像について追加・修正すべき点がないかどうかという点をご議論いただければ  
92 と思います。以上です。

93 **【高野 重紘 部会長】**

94 説明終わりました。それでは審議に移りたいと思います。本日の論点はただ今事務局から説明  
95 があったように、生活再建に関して計画に盛り込む内容をご審議いただきます。論点としては3  
96 つありまして、資料2にありますように、1つ目は仮の町の実現に向けた取組について、2つ目  
97 は生業再開・雇用確保のための取組について、3つ目は教育環境の確保の取組について、4つ目  
98 は当面の避難生活の改善の取組についてであります。いずれの論点からでも結構でございます  
99 ので、計画に盛り込む項目に追加・修正すべき点がないか、ご意見をいただきたいと思いま  
100 す。よろしく申し上げます。どなたか意見ございませんか。

101 **【中村 希雄 委員】**

102 先程、本当はこの場で話すべきだったんですが、時間ありましたからさっきしゃべりました  
103 けど、このページの一番最後、当面の避難生活の改善の取組、2つ目の○、短期的な住まいであ  
104 る応急仮設住宅の暮らしの改善と、これについてなんです、ほとんどが1年くらいで出されち  
105 ゃう状況なんですね。ですからまた同じことを話しますが、仮の町云々ももちろんやらずにちゃ  
106 いけないんですが、この最後の人が出るまで仮設あるいは借上げに入れるような施策が仮の町以  
107 前に大切だと思うんです。これがなければ、もう不安が不安で何もできない、みんなこれだけな  
108 んですよ、帰ったら。あの幸せなつくばでもみんな会えばそれだけ。来年、平成26年3月と、  
109 鍵いただいたとき、私は出る気はないんだけど、そういうことで言われてますから、みんなは  
110 それだけでおののいて不安がってるんですよ。ですから他にも同じだと思うんです。ましていわき  
111 あたりはアパート更改してくれないところもあるんですね、もう。敷金・礼金が入らないから。  
112 「もう出てくれ」と。空いてるアパートももうないと。そうなった場合に当然空いている仮設に

113 行けという返事が来ようかと思うんですが、仮設は借上げから見ればはるかに厳しい状況です  
114 から、先程申し上げましたように特に借上げについて災害公営住宅扱いにしてもらって、少なくと  
115 も2、30年は国が補償するように、強く働き掛けるのがまず第一の必要なことじゃないかと思  
116 います。それからこういうことをゆっくりやればいいんであって、そういうのさえ確保されれば仮  
117 に窮屈なきイツという病になるような仮設にいる人も、借上げに移ることもできるわけですから、  
118 当然県の施策も考え直してもらわないといけないんですけども、その人の生活状況を見て、審査  
119 して、もう1回チャンスを与えてもらわないと、みんな早く死んじゃいますよ。今までの平常の  
120 死亡率の6倍いってますからね。これ7倍、8倍といきますから。現実、仮設にいる人たち、去  
121 年元気で騒いでたお年寄りがみんな出歩けなくなってうちに入ってるわけなんですよ。ですから  
122 現状の特に仮設の生活状況のアンケートなりアンケートじゃなく実情を視察してもらって、県に  
123 お願いしたいと思います。まず第1に、これさえ通れば後は何でもオッケーです、私は。以上で  
124 す。

125 **【高野 重紘 部会長】**

126       その他、意見ございますか。

127 **【大橋 庸一 委員】**

128       大橋と申します。仮の町の機能なんですけども、住民意向調査の結果によって、いろいろ希望  
129 が出てきまして、機能といっても例えば集中型とか分散型によって、あるいは役場の、今度いわ  
130 きの方に本体機能が行くわけですけど、分散型がいいとなれば、仮の町ができてくると、それに  
131 機能がいろいろ、意向が出てきても追いついていくのかと心配になりますけども、その辺も併せ  
132 て審議していただきたいです。

133 **【高野 重紘 部会長】**

134       それについて事務局は何か、提案みたいなものがあるんですか。

135 **【事務局 駒田 義誌】**

136       そこはこれからの意向調査で、希望がどれだけ集まっているのかそれともバラけているのか、そ  
137 こはアンケートの結果を見て、2月のご判断かと思えますけれども、仮にそれが、希望が、ある  
138 程度分散しているということになったときに、どういう形で仮の町を考えるのかというのはまさ  
139 に2月の議論のポイントだと思うんですけども、機能の面でいうと、そこはまさに受け入れ自  
140 治体との協議にあたっての留意点に関わってくるのかなと思うのですけれども、その時に双葉町  
141 として用意するのか、もしくは受け入れの自治体である程度整備がされているものを利用して  
142 いただけるようお願いをしてその町と連携してやってくるのか、いろいろなそこはオプションが  
143 あるんだと思います。たぶん町民の皆さんにとってはサービスを受けられるということが最終  
144 目標だと思いますので、そのプロセスの中で町としてやるべきところと受け入れ自治体にお願  
145 していくところ、そこは規模を見ながら整理をしていくべきだと思いますので、実際に仮の町の  
146 候補がアンケートから出てきた段階で、受け入れの自治体と協議していく中でそこも調整してい  
147 くポイントとして計画には書いていくのかなというイメージを持っておりますが、いずれにし  
148 もそこは2月の意向調査の結果次第かなと思っております。

149 **【高野 重紘 部会長】**

150 今の説明した事について意見がありますか。**【大橋 庸一 委員】**

151 場合によっては、小規模な分散型がいっぱいできた場合、そのままその地域にとけ込んでいく  
152 というんですか、そのまま住みつくといいですか、そういったことも予想されると思います。仮  
153 の町イコールその地域に終の棲家を求めていくというか、その地域にとけ込んでそのまま生活し  
154 ちゃうというようなこともあるかと思いますが。そんなことも意向調査によっては考えなくちゃい  
155 けないかなと私は思います。

156 【三井所 清典 委員】

157 どれくらいまでの規模、最終的には一人のあるいは一所帯でどこか行こうというのがあります  
158 よね。仮の町という以上、あるまとまりを想定するんですけれども、どれくらいから、例えば、  
159 一つの小さな集落ができるとすると、20軒、15から25とか、20軒前後くらいが集まったら仮  
160 の町というんですかね。小さすぎますかね。

161 【大橋 庸一 委員】。

162 どこに住みたいという希望が出てきた場合、意向調査によって、例えば、いわきに住みたいと  
163 いう人もいわきは広いですから、一概には言えないと思うんですけど。わかりません。

164 【三井所 清典 委員】

165 集合住宅で災害公営住宅をつくるという今あの新聞情報ではそういうふうになってますけど、  
166 そうすると例えば廊下がついてエレベーターがついて、高齢者も自由に動けるバリアフリーの  
167 タイプになって、3階建て、4階建て、5階建てといろいろ考えられると思うんですけど、そ  
168 ういう時に、3階建てだったら12とか16とかそういう感じくらいから始まると思うんですね。  
169 5階建てだったら規模が大きい。そういう時に双葉の人だけでそこが埋まるようになるのか、双  
170 葉郡の人たちと一緒にいるようなこともあり得るのかと、いうようなことで規模が大きくなったり、  
171 小さくなったりすることもあり得る。いろいろなのが想定されると思うんですね。例えば郡  
172 山に住みたいという人たちが少なかった場合に、双葉郡の人たちと他の町の人たちと一緒に住む  
173 ということもあるのかという、できれば集落で一緒に生活していた人たちが一緒にまとまって住  
174 むと、その後の生活、高齢者のその後の生活もやりやすいということがあるんですよね。そんな  
175 まとまり方の、町民に対してどんな情報を出しながら集まってもらうのか、ということがこの先  
176 にあるような気がするんですね。

177 【高野 重紘 部会長】

178 私、部会長としてではなく、委員として1点言いたいんですが、私がずっと放射能が多くて帰  
179 れない人、あとは帰らないそういう人たちのために、土地を提供していただきたい。特に関東地  
180 区に私は土地を提供していただきたいというのが、一貫して私の主張なんです。国の失策で  
181 我々逃げてきたわけですから、国の力によって土地を特に双葉地区ぐらいの値段で提供して  
182 いただきたい。それがあれば、例えば関東地区というのは、ここ加須市ですが、この地区であつて  
183 もいいというのが私の考えなんです。現在ここに1,200、1,300人くらいいると思うんですね。  
184 私の息子たちも川口市に今後住むようになるんですが、私もあと娘がいますし、関東地区であれ  
185 ば来たいという考え方なんです。「もう放射能があるところには帰りたくない」と、30代の方は  
186 そういう考え方も多い。土地を提供していただければ、双葉町に戻る。30年とか50年といたら  
187 家の寿命ですから。永久的な家ですよ。そうすると仮の町という形じゃなく私は新生双葉地区を  
188 つくるという考えで一貫して、言ってますので、そういうことも皆さんに頭に入れていただき

189 いと思っています。「仮の町、仮の町」というと、どうしてもすぐ帰れるような考え方になるの  
190 ですが、委員会で言ったように山田地区はもう帰れませんので、将来のことを考えた場合、帰れ  
191 ないのなら本当に生活のしやすいところに町をつくりたい、新生双葉町をつくりたいというのが  
192 私の考えです。その他ございますか。

193 【藤田 博司 委員】

194 藤田です。審議の中で一番最初に仮の町の意義・役割というようなことを言われているんです  
195 けど、そのことについて若干お話をしたいと思うんですけど。仮の町というのは、先程 10 年な  
196 いし 30 年という話もございましたけども、やはり長くそのところに双葉町の人たちがいられ  
197 るような環境をつくるということが大事で、そのことだと思うんですけどね。それをしていくの  
198 に集中型か分散型かというようなお話もございまして、やはりできれば集中型の 1 つがよろしい  
199 んだろうと思いますけども、私前からお話何回か述べさせてもらってますけども、みんな双葉町  
200 の人も相当各方面にちらばっておりますね。ちらばっているということがどういうことかとい  
201 と、そのところに生活基盤が置きつつあるというような状態ではないかと思います。そのよう  
202 な人たちを双葉町の分散した中の集落みたいな形でそのところにつくっていくということだ  
203 と、そこに集まってくるのではないのかなと、こんなふうに思います。なぜそういうふうにしな  
204 ければならないかと言うと、今ある私の知り合いの中には、借上げ住宅を借りているんですけれ  
205 ども、ごみを投げるにしても非常な抵抗、皆さんに見られているような感じで非常な抵抗を感じ  
206 ているとか、双葉町の人たちはお金をもらっているのに何でこちらの市の金を使ってごみなどを  
207 投げなければならないのかと、そういうような話が耳に入るというような状態だそうです。この  
208 仮の町をつくるにすれば 1 つは大きなところも必要でしょうけども、あとはあまり数が多いとい  
209 う意味ではないんですけども、2、3 ヲ所に仮の町をつくって、そちらの方に移り住む希望の者  
210 は移り住めるような住環境ですか、それをつくったらいいんじゃないかと思ってます。それで私  
211 もボランティアで養老院の方に月に 2 回ほど言ってくるんですけども、その中にこないだ新しく  
212 入った方なんですけども、まだ元気のいい方なんですけども、私はこういうところにこんなに早  
213 く来る気はなかったんだというようなことを一生懸命おっしゃってたんですけども、それはどう  
214 かというと、そのところは個室もあるんですけども、そこは皆さんとお話できるようなそうい  
215 うところもあって、非常に私らはいいいのかなと思ってはいるんですけども、あまり一戸建てで住  
216 んで長くおられた方がそういうようなアパートというんですか、あるいは個室みたいなところで、  
217 あと集合住宅というんですか、そういうところに入るとなんだか窮屈に自分の今までいたとこと  
218 違うというんで、窮屈に思うためなのかなというふうに私も感じてきたところです。仮の町をつ  
219 くることにつきましても、やはり双葉町のほとんどの方々は一戸建てに住んでおりましたので、  
220 アパートシティのようにする、それも少しは必要かもしれませんけれども、一戸建てのような住  
221 宅を、災害住宅をつくっていただいて、その中で暮らすようにもっていったらいいのかなとこ  
222 んなふうに思います。あとは、先程お話もありましたけども、その仮の町の中には学校なり商業施  
223 設なり公民館、役場等々、いろいろな公共施設も必要になってくるんでしょうし、もちろん医療  
224 機関の方も必要になってくるんだろうと思いますんで、そこら辺も踏まえた中でこの仮の町をつ  
225 くって上においては、やはりそこら辺を踏まえて、少しでも早く結果を出すべきなのではないか  
226 と、こんなふうに思います。以上です。

227 【高野 重紘 委員】

228 皆さんの意見聞きたいですから。

229 【吉田 岑子 委員】

230 吉田です。さっきの中村委員の話のように、とりあえず借上げということで加須と騎西のことを話しますと、避難所生活が大変だからすぐ借上げを借りると、とりあえず借上げを借りました。231  
232 でも本当に藤田委員のお話のように、一戸建てに住んでた私たちにはアパートというのはすごい抵抗があるわけですね。そんなことで我慢してきましたけれども、県外は一回借上げたらもう借233  
234 上げはできない、あと移動できない、福島県内は大丈夫なんだと、でも県外はダメなんだという235  
236 お話を聞きます。そういう中でとりあえずの生活をしたんだけれども、変えればいいなという237  
238 話も何人かに聞きます。例えば借上げをもう一度借上げし直しできるんだったら、加須の場合も239  
240 同じで、そういうふうに一戸建てが空いてればそこに入れる可能性もあるんだとすれば、そこに241  
242 ずっと住んでいてもいいという方もいるわけです。そうした時に、仮に新生双葉町を加須市にも243  
244 一つと設けるとすれば、それもありかなと、それも20年、30年と補償いただければ我が家として245  
246 住んでいられるんじゃないかなという考えもあります。私も以前には、商工会としての意見は247  
248 集中型がいいということもお話しましたが、それはデメリットも多すぎると思っていて、や249  
249 すけどね。以上です。

250 【井上 六郎 委員】

251 今の話の続きになるんですけども、福島なんかの場合ですと、借上げは3回目の移動はダメなん252  
253 ですね。それで住みづらいので、狭いので、借上げでは、自分で見つけて、中古住宅に入っ254  
255 ている人たち、そして今中古を求めて苦戦している人たち、だいぶおりますよ。というのは結局、256  
257 双葉から避難してきてここで一つの町をつくるなんてことを、その地区で希望してないんです。258  
259 自然に我々にとけ込んできてくれないかと。そしてお互いに仲良くやりましょう、と。単位個数260  
261 の問題ですけども、私は双葉にいるときには、一つにまとまって集合生活するのは、15戸か20262  
263 戸が適当なんですね。それ以上多くなるとあまってしまうんですよ。実際わしらも草をやったり264  
264 いろいろなことをやってきました。面倒見てきました。そう考えると一番スムーズに行くのは、265  
266 一人暮らしの人がいるにしても何にしても、15戸くらい。これが重要なんですね。そうすると267  
268 そこに住む子ども、大人もとけ込んで、それと学校の問題なんかも出てきますけども、もう今更269  
270 遅いんですよ。学校云々というのは、もうすっかりその場その場でなじんでるんですよ。それ271  
272 からさっきスタンスを切って計画を順次見直していくというけれども、我々が今本気になって考273  
274 えているんだけど、我々の子孫は、孫・ひ孫はどういうような生き方をしていくのか、これ275  
276 が大きな問題だと思うね。私なんか、「もう地元には帰れねんだ」と、「わしらはここに住みた

265 いんだ」という考えなんですね。「私は強制はしません」「帰れよと言いません」「じゃあこの土  
266 地に馴染んでいきなさい」と、いうことですね。ところがそれにつけても問題は資本なんですよ。  
267 今、仮の町をつくろうとして莫大な金を投下しようとしてるね。これを元手に各個人個人の生活  
268 を支援していけば、本当にもう自由に生きて、生活することができんじゃないかと。じゃあ昔の  
269 隣近所のきずなはどうすんだと、それはやはり遠くにありて思うもの、懐かしく思うもので、そ  
270 れもやはりきずななんだと思うんです。そんなことを考えてますね。やはりその地区地区に世話  
271 になんだから、飛び込んでいくのも一つの生活じゃないかと。そしてその支援は国の補助、そ  
272 れから県の援助などを受けながら、最高のサービスをしていただいていた方がいいのかなというふ  
273 うに考えています。以上です。

274 【高野 重紘 部会長】

275 じゃあ末永委員。学校関係ということで。

276 【末永 幸弘 委員】

277 ここ最近の双葉郡の動きなんですけども、檜葉小中学校、実はあそこの学校はいわき市の方の  
278 社屋を利用して子どもたちを集めて授業をしていたんですが、今回いわき明星大学の土地をお借  
279 りして仮設の学校つくりまして、そこに移動しました。お話聞きますと、かなり子どもたちが生  
280 き生きと頑張っている様子ですね。それから前にお話ししました葛尾がなかなか子どもが集まら  
281 ない状況であると。それからそれでも 25 年度再開という、郡山ですね、打ち上げて今人集めを  
282 しているような状況。あと広野小中学校はもう自分たちの学校に帰って授業しておりますが、実  
283 際子どもたちはいわき市の方にいますので、大変な登校状況といえますか、バスを借りてやっ  
284 ています。大熊あたりは、5 年後いわきの方に移るといようなことを宣言したもんですから、  
285 会津若松には気候的に合わないというか、この時期特に松長という団地があるんですが、吹きさ  
286 らしで寒くて雪も多くて、あそこからどンドン出ているような状況です。そうやってどンドン子  
287 どもたちの動きあります。双葉町の子どもたちの多くは、いわきには北小・南小合わせて 80 人  
288 くらいはおるんですが、かなりばらついてます。平の市街地にもいますし、もちろん南台にも子  
289 どもたちいます、いろいろなところにおるんですが、これは前からここにでているご意見のどお  
290 り、早期に、仮の町とは別にとにかく学校は早く立ち上げないと、難しくなります。まちづくり  
291 や人づくりでどこの首長さんもお話になるんですけども、とにかく早く学校は仮の町以外でと  
292 にかくここにあるんだぞと、25 年度の 2 学期でも 3 学期でもいんですが、「やるんだぞ」と宣言し  
293 て意向調査を早くやっていただいて、どれだけ集まるか、でないこれから双葉町 30 年だの 40  
294 年だの話をしてますが、その担い手がいなくなります、と思います。大変厳しい状況だと思いま  
295 す。

296 【荒木 幸子 委員】

297 荒木と申します。まず、双葉町をなくさないということを前提にすべての話をしていかないと  
298 いけないと思うので、つまり 30 年後、50 年後に双葉町はとにかく必ず復興させるんだとい  
299 ことを前提に考えるときに、やはりまず私がこの町のコンセプトということで思うのは、本双葉町  
300 といういわゆるメインとなる双葉町に役場機能があり、それからそこに来れば必ず放射線に関わ  
301 る検査ができますよ、情報提供ができますよという病院であるとか学校があり、それからお墓は  
302 持ってこれないですけどそこにお墓の代理になるようなお寺さんがあって、そこにいけば先祖に



303 お参りができますというような寺社仏閣とか、それから先程若い方がおっしゃっていた、おしゃ  
304 べりをする場所、会う場所、そういったものをもった本双葉町というような拠点となるような町  
305 を1つつくり、そしてそれ以外に例えば郡山双葉、加須双葉、つくば双葉というような小さいコ  
306 ミュニティがあるというような形で仮の町を、考えていったらいいんじゃないかなというふうに  
307 思います。基本的に双葉町をなくさないということでこの話はしていると思いますので、そうな  
308 ったときにはやっぱり、末永先生もおっしゃったように、一刻も早く学校は立ち上げておかない  
309 と、もう5年後に学校を立ち上げてもなかなか厳しいものがあると思います。本双葉町の中には  
310 お家を1人で建てなさいと言われてもなかなか建てられないなどもだっていっしょにと思いま  
311 すので、本双葉町には集合住宅や大きな物件でなくてもよろしいので一戸建てを持つような集落  
312 をきちっとまず設置すべきじゃないかなというふうに思います。以上です。

313 【渡邊 ゆかり 委員】

314 言おうと思ってたことを荒木先生が全部代読してくれた感じで、私も同じ感じでいいと思うん  
315 ですけど、本当に早くつくってほしいなというのと、安心してそこに住めるという場所、例えば  
316 若い人が他の町なり市なりで落ち着いてしまっても、そこに戻ればみんながいるんだよという安  
317 心なのが仮の町の意義だと思うので、早くつくってほしいなと思いました。あと、意向調査の結  
318 果を早く聞いて、それを聞けばまた話がどんどん進むと思うので、頑張って集計してください。

319 【高野 重紘 部会長】

320 皆様の意見としては、今いろいろ出ましたけども、最終的には、意向調査の結果によっていろ  
321 いろ変わると思うんですね。今日はもう時間的にはそろそろ。まちづくり委員会の生活再建部会  
322 としては、今日の議論としてはいろいろ出ましたけど、双葉町復興まちづくり計画に盛り込む内  
323 容について、委員の皆様から慎重なご意見をいただきました。それではこれまでの議論を踏まえ  
324 て、生活再建に向けた取組の考え方について、事務局から資料説明のあったものをベースとして、  
325 本日の意見または皆様の追加意見を基に事務局に骨子の作成を進めさせたいと思います。お諮り  
326 したいと思いますが、いいですか。

327 [異議なしと呼ぶ委員あり]

328 【高野 重紘 部会長】

329 ありがとうございます。それでは委員の皆様のご了解をいただきましたので、本日説明した  
330 内容と委員皆様からの意見に基づいて、次回の委員会までに事務局の方で骨子の作成を進めてく  
331 ださい。

332

333 (2) その他

334 【藤田 博司 委員】

335 この仮の町にふさわしい名称、キャッチフレーズについてはどうなってるの。

336 【事務局 駒田 義誌】

337 これからお諮りしたいと思っています。2月、3月の部会の中で議論して決めていただければ  
338 と思っております。

339 【高野 重紘 部会長】

340 2月、3月でいいんですか。事務局の方でこれからの部会の進め方についてお願いします。

341 【事務局 駒田 義誌】

342 本日も欠席の委員の方もいらっしゃいますし、あとは皆さん、資料は今日配らせていただいた  
343 ので、たぶんお読みになられてまた追加でご意見等もあるかもしれませんので、明日付の文書で、  
344 また来週水曜日、23日になりますけれども、までに何か追加でご意見があればご提出いただき  
345 たいとお願いをさせていただきますので、それも31日にご提示する資料に反映させたいと思  
346 いますので、ご意見いただければと思います。また、復興会議の意見であるとか住民意向調査アン  
347 ケートの結果を見てまた柱立てで追加したい、直していただきたい、直さないといけない点も出  
348 てくるかと思しますので、もう一度骨子、また取組の具体的内容の全体像、議論していただきな  
349 がら今後固めていきたいと、皆さんで議論して固めていただければと思っておりますので、よろ  
350 しくお願いします。

351

352 3. 閉 会

353 【高野 重紘 部会長】

354 それでは時間となりましたので、特段ないようでしたら本日の生活再建部会を終了させていただきます。  
355 議事進行にご協力いただきありがとうございますございました。後程委員会で私から部会の審議  
356 状況をご報告させていただきます。以上です。どうもありがとうございました。

357

358

以上

# 第4回生活再建部会座席表

(敬称略)

渡邊 高野  
ゆかり 重紘

1 日時 平成25年1月17日(木)

15:00~15:45

2 場所 双葉町埼玉支所 4階家庭科室

大橋 庸一

吉田 岑子

井上 六郎

末永 幸弘

荒木 幸子

(代理)  
志賀 睦

大沼 武

三井所 清典

藤田 博司

中村 希雄

井上 一芳

高野 憲一

竹本 良一

駒田

事務局

吉野

尾崎

山崎

事務局